

ハロー インフォメーション

120号

NTT東日本からのお知らせ

NTT東日本ホームページ
<http://www.ntt-east.co.jp/>



ユニバーサルサービス料について

NTT東日本では、110番や119番などの緊急通報、公衆電話、山間部や離島を含めた固定電話通信などのユニバーサルサービスを、いつでも、どんなときでも、お客さまにご利用いただけるように、通信網の維持・保守に取り組んでいます。このユニバーサルサービスを維持するために、平成19年1月より各電話会社が「ユニバーサルサービス支援機関^{*1}」を通じて費用を出し合う「ユニバーサルサービス基金制度」がスタートし、平成21年2月からは、お客さまに、1電話番号当たり月額8円(税込8.4円)のご負担をいただいております。

NTT東日本は従来から経営効率化に取り組み、人件費や経費の削減など、あらゆる費用を対象に大幅なコスト削減を実施しておりますが、近年のユニバーサルサービスを取り巻く環境は、

- ①携帯電話の普及拡大及び採算性の良い都市部を中心としたIP電話や他事業者が提供する固定電話サービスとの競争の進展
- ②従来、接続料として接続事業者が負担してきた交換機コストの一部を段階的に基本料コストに付替えるという制度変更^{*2}

にみられるように大きく変化しており、その結果、ユニバーサルサービスの収支は平成20年度で▲722億円の赤字となっております。

一方、ユニバーサルサービス基金制度により支援される額は、実際の費用を用いて算定するのではなく、現時点で想定しうる最も効率的な設備を構築した場合の費用を用いて算定されており、かつ、加入電話(基本料・緊急通報)の支援対象は著しい高コストの地域に限定されていることから、実際の赤字の一部となっております。

今般、ユニバーサルサービス支援機関が定める各電話会社の1電話番号当たりの負担額(番号単価)は、平成22年2月からも現行と同様月額8円となりました。これにともないまして、引き続きお客さまには1電話番号当たり月額8円(税込8.4円)の「ユニバーサルサービス料」をご負担いただきます。

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持に力をつけてまいります。みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

*1 社団法人電気通信事業者協会が総務大臣より指定されています。

*2 平成17年度から交換機コストの一部を段階的に(平成19年度は5分の3、平成20年度は5分の4)に基本料コストに付替えるものです。なお、このコストのうち、き線点RT(メタルケーブルに收容する電話等の通信を加入者交換機まで光ファイバーで伝送するための多重化装置)~加入者交換機間伝送路の一部の費用については、平成20年度より段階的に交換機コストに戻す(平成20年度は当該コストの5分の3を基本料コストに付替え)とされております。

①料金額

(1電話番号当たり月額)

ユニバーサルサービス料 ^{*3,4}	8円(税込8.4円)
-----------------------------	------------

*3 ユニバーサルサービス料は、支援機関が定める番号単価と同額です。

*4 適用する電話番号については、加入電話サービス、総合デジタル通信サービス(ISDN)、ひかり電話サービスなどの契約者回線に係る電話番号およびダイヤルイン、iナンバー、マイナンバー、二重番号、フリーアクセス(0120、0800から始まる電話番号)、ナビアクセス・APナビ(0570から始まる電話番号)、ダイヤルQ²(0990から始まる電話番号)などの付加サービスに係る電話番号です。

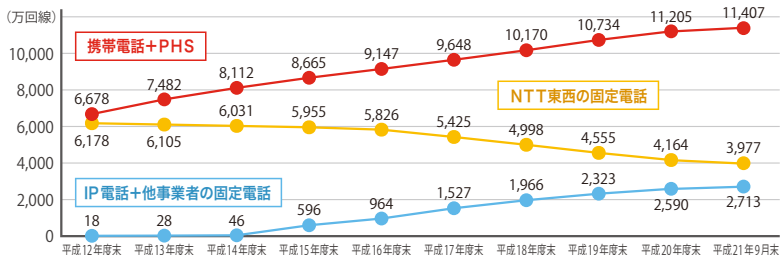
②その他

支援機関が定める番号単価については、社団法人電気通信事業者協会のホームページ(<http://www.tca.or.jp/universalservice/>)において公表されています。

固定電話回線数の推移

携帯電話の普及拡大及び採算性の良い都市部を中心としたIP電話や他事業者が提供する固定電話サービスとの競争の進展により、NTT東西の固定電話が減少しています。

携帯電話・IP電話・固定電話などの回線数の推移

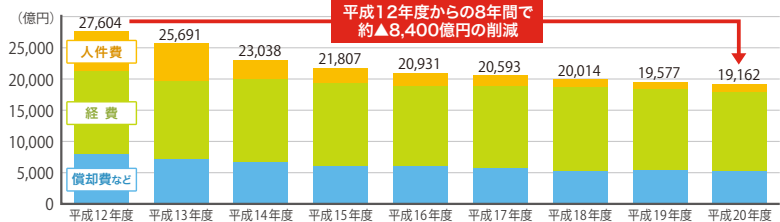


※固定電話は、加入電話とISDNの合計 ※IP電話は、電話番号数の合計 ※数値は、NTT東日本・西日本エリアの合計 (出典) 総務省の公表資料をもとに作成

平成20年度に実施したNTT東日本の経営効率化

平成20年度についても一層の経営効率化に取り組み、大幅なコスト削減を実施しており、平成12年度からの8年間で約▲8,400億円の費用を削減しています。

営業費用の推移



平成20年度におけるNTT東日本のユニバーサルサービス収支の現状

経営効率化に取り組み、収益の減少による収支の悪化をコスト削減で補うよう努めておりますが、従来、接続料として接続事業者が負担してきた交換機コストの一部(NTSコスト^{*1})の負担方法の変更に伴う基本料コストの増加^{*2}等により、平成20年度におけるユニバーサルサービス収支は▲722億円の赤字となっております。

*1 NTSコスト(Non-Traffic Sensitive Cost)とは、交換機設備のうち、通信量の増減によって変化しない装置のコストを指します。
*2 平成17年度から、交換機コストを段階的に基本料コストに付替えるという制度変更が行われております。平成20年度は、NTSコストの5分の4(き線点RT~加入者交換機間伝送路の一部の費用については5分の3)にあたる、579億円が交換機コストから加入電話・基本料の費用に付替えられています。

サービス名	平成19年度			平成20年度		
	営業収益	営業費用	営業利益	営業収益	営業費用	営業利益
加入電話・基本料	4,416億円	5,106億円	▲689億円	4,050億円	4,743億円	▲693億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	14億円	39億円	▲25億円	12億円	38億円	▲26億円
緊急通報	-	4億円	▲4億円	-	3億円	▲3億円
合計	4,430億円	5,148億円	▲718億円	4,062億円	4,784億円	▲722億円

▲4億円

NTT東日本へのユニバーサルサービス基金制度による支援額

支援額は、実際のコストではなく、現時点想定しうる最も効率的な設備を構築した場合のコストを用いて算定していることから、今年度のNTT東日本への支援額は、ユニバーサルサービスの実際の赤字▲722億円の一部である、113億円が支援されることとなります。

サービス名	平成20年度の営業利益	基金による支援額
加入電話・基本料	▲693億円	91億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	▲26億円	22億円
緊急通報	▲3億円	0.5億円
合計	▲722億円	113億円

最も効率的な費用をもとに算定

支援額の算定は、実際にかかったコストではなく、長期増分費用モデルを用いることにより、現時点想定しうる最も効率的な設備を構築した場合のコストとなっています。

支援対象の地域と費用の絞り込み

加入電話(基本料・緊急通報)の支援対象は、著しい高コストの地域*1に限られており、さらに支援される費用の範囲も、著しい高コストの水準*2を上回る部分に限られています。

*1 全国の加入数の4.9%の地域とされています。

*2 平均コストに標準偏差の2倍を加えた額とされています。

支援を受けても残りの赤字(▲609億円)はNTT東日本自身が負担

ユニバーサルサービス料とユニバーサルサービスコストの負担について

ユニバーサルサービスの維持に必要な費用を賄うための各電話会社の1電話番号当たり負担額(番号単価)が平成22年2月からも現行と同様月額8円となりました。これにともないまして、引き続きお客さまには1電話番号当たり月額8円(税込8.4円)の「ユニバーサルサービス料」をご負担いただきます。

ユニバーサルサービスコストの負担について

NTT東日本・西日本のユニバーサルサービスの赤字▲1,312億円

※ 事業者別の拠出額は、平成21年6月末の電話番号利用数に基づく試算値です。

※ NTT東日本・西日本の拠出額は、予め相殺される自社負担分を含みます。

NTT東日本・西日本の負担1,124億円

基金からの支援188億円

毎月の電話番号利用数に応じて、1電話番号当たり8円を拠出

28億円を拠出

27億円を拠出

133億円を拠出

お客さまに「ユニバーサルサービス料」としてご負担をいただいております

NTT東日本

NTT西日本

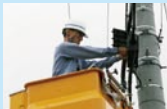
他の電話会社
他の固定電話、携帯電話、PHS事業者など

NTT東日本のお客さま

NTT西日本のお客さま

他の電話会社のお客さま

NTT東日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持につとめてまいります。みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



毎日の作業の積み重ねにより日本全国の通信を守る



独自のノウハウを結集した通信網が島を孤立から守る



雪の重みから通信ケーブルを守る



災害発生時の素早い対応で被災地の通信を守る

ユニバーサルサービスに関する詳しい情報はこちら

<http://www.ntt-east.co.jp/aboutus/univ.html>

電話に関するお問い合わせ・お申し込み

「116」 携帯電話・PHSからは「0120-116000」

営業時間：午前9時から午後9時まで
土日・祝日も営業(年末年始を除きます)

ホームページ「Web116.jp」においても、NTT東日本の各種商品、サービスの注文受付や最新情報の提供を行っています。

<http://web116.jp/>

料金に関するお問い合わせ

NTT東日本料金請求書、領収証・口座振替のお知らせに記載している「料金お問い合わせ先」へお願いいたします。

※本紙には、サービスごとの消費税込みの総額を表示しておりますが、複数のサービスをご契約のお客さまにおかれましては、お手元で計算された額と実際の請求額が異なる場合がございます。
[次号発行のお知らせ] 次号ハローインフォメーションは3月発行予定です。 K09-04068 [1001-1002]



ミックス品 Cert no. SGS-COC-003615 © 1996 FSC

※本紙は森林資源保護のため、FSC認証紙に印刷しております。